

3 小学校

(1) 学校数

学校数は256校で、前年度より6校減少した。

設置者別では、国立1校、公立254校、私立1校となっている。

公立学校のうち、へき地等指定学校は47校（対前年度4校減）、特別支援学級を置く学校数は187校（全学校の73.0%）で、前年度より3校減少した。（表8）

表8 年度別学校数(小学校)

(単位:校)

区 分	計	国 立	公 立			私 立	へき地等 指定学校数	特別支援学級を 置く学校数
		本 校	計	本 校	分 校	本 校		
平成18年度	280	1	278	270	8	1	69	180
19	280	1	278	270	8	1	69	181
20	274	1	272	264	8	1	64	192
21	267	1	265	258	7	1	61	198
22	262	1	260	253	7	1	51	190
23	256	1	254	247	7	1	47	187

(2) 学級数

学級数は2,789学級で、前年度より22学級減少した。

編成方式別では、単式学級が2,347学級（対前年度15学級減）、複式学級が123学級（同19学級減）、特別支援学級が319学級（同12学級増）となっている。

1学級当たりの児童数は23.0人（同0.2人減）となっている。（表9）

表9 年度別学級数(小学校)

(単位:学級、人)

区 分	計	単 式 学 級	複 式 学 級	特別支援 学 級	特別支援学級の 占める割合(%)	1学級当た り児童数
平成18年度	2,971	2,542	173	256	8.6	23.6
19	2,930	2,484	177	269	9.2	23.4
20	2,916	2,464	162	290	9.9	23.2
21	2,891	2,426	154	311	10.8	23.0
22	2,811	2,362	142	307	10.9	23.2
23	2,789	2,347	123	319	11.4	23.0

(3) 児童数

児童数は64,069人（対前年度1,053人減）、特別支援学級の児童数は954人（同105人増）、複式学級の児童数は965人（同175人減）となっている。

このうち特別支援学級の児童数は、この5年間で60%以上増加した。

一方、複式学級の児童数は25%以上減少した。（表10）

表10 年度別児童数

(単位:人、%)

区 分	児 童 数				学 年 別 児 童 数						特別支援 学 級	複 式 学 級
	計	増減率	男	女	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
平成18年度	70,096	-4.9	36,034	34,062	10,982	11,340	11,669	11,783	11,819	12,503	579	1,305
19	68,662	-2.0	35,195	33,467	11,035	10,992	11,341	11,673	11,807	11,814	615	1,353
20	67,783	-1.3	34,886	32,897	10,922	11,024	11,005	11,345	11,672	11,815	688	1,269
21	66,575	-1.8	34,150	32,425	10,597	10,941	11,019	11,005	11,332	11,681	781	1,172
22	65,122	-2.2	33,436	31,686	10,284	10,599	10,916	11,035	10,967	11,321	849	1,140
23	64,069	-1.6	32,760	31,309	10,237	10,301	10,580	10,941	11,046	10,964	954	965

(注1) 特別支援学級とは学校教育法第81条第2項各号に該当する児童で編成されている学級をいう。

(注2) 増減率は、対前年である。

(4) 長期欠席者数

平成 22 年度間の 30 日以上長期欠席者数は 322 人（対前年度 22 人増）で、全児童数に占める割合は 0.49% となっており、前年度より 0.04 ポイント上昇した。

このうち、30 日以上不登校者数は 116 人（対前年度 12 人減）で、全児童数に占める割合は 0.18% となっており、前年度より 0.01 ポイント低下した。

全国平均では、長期欠席率 0.75%、不登校率 0.32% となっており、本県は長期欠席率が全国と比べ 0.26 ポイント低く、不登校率が 0.14 ポイント低くなっている。

全国における本県の順位をみると、長期欠席率が第 41 位、不登校率が第 47 位となっている。（表 11）

表 11 理由別長期欠席者数の推移(小学校) (単位:人、%)

区 分	計	全児童数に占める割合	病 気	経済的理由	不登校	その他
平成12年度間	619	0.81	412	—	176	31
13	565	0.75	380	—	137	48
14	463	0.63	291	—	135	37
15	407	0.56	260	—	116	31
16	345	0.48	220	—	94	31
17	373	0.52	234	—	110	29
18	391	0.56	239	—	108	44
19	398	0.58	237	—	139	22
20	342	0.50	194	—	111	37
21	300	0.45	153	—	128	19
22	322	0.49	184	—	116	22

※ 長期欠席者数については、平成 23 年度間は平成 24 年度調査で実施予定。

(5) 教職員数

教員数は 4,213 人で、前年度と比べ 3 人減となっている。

男女別では、男子が 1,670 人(対前年度 18 人減)、女子が 2,543 人(同 15 人増)となっている。

教員のうち、女子教員の占める割合は 60.4%（全国 62.8%）で、前年度より 0.4 ポイント増加(全国は同率)となっている。

(表 12)

表 12 年度別教職員数(本務者) (単位:人、%)

区 分	教 員 数			教員1人当たり児童数	教員のうち女性教員の占める割合	職 員 数		
	計	男	女			計	男	女
平成18年度	4,396	1,785	2,611	15.9	59.4	908	276	632
19	4,354	1,752	2,602	15.8	59.8	932	282	650
20	4,323	1,725	2,598	15.7	60.1	931	279	652
21	4,329	1,721	2,608	15.3	60.2	939	273	666
22	4,216	1,688	2,528	15.4	60.0	945	273	672
23	4,213	1,670	2,543	15.2	60.4	951	264	687